

クマの出没にご注意ください!



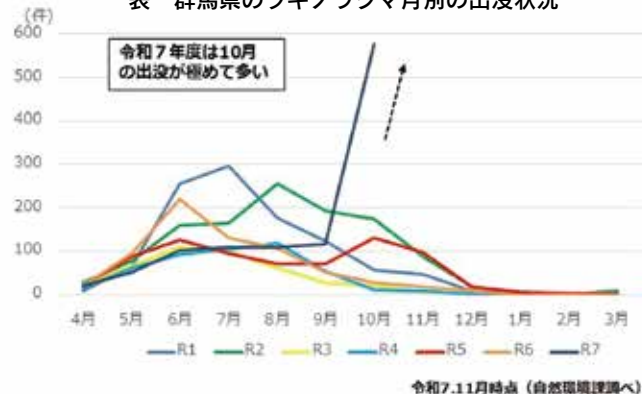
農学博士

群馬県利根沼田農業事務所

クマによる人身被害は、4月から発生し始めて5月に一度増加した後、秋に向けて再び増加して10月に最も多くなっています(環境省)。一方、本県の出没状況では、令和6年度は6月の出没件数が急激に増えましたが、令和7年度は10月に出没件数が急増しました。これは統計以降最多を記録しました(表)。

農作業や鳥獣対策を行う際は、クマとの不意の遭遇に十分ご注意ください。

表 群馬県のツキノワグマ月別の出没状況



1 クマの出没を防ぐためには

①農作業や鳥獣対策を行う際に注意すべき事項

- ・作業中はラジオや鈴など音の出るものを携帯し、クマに人の存在を知らせましょう。
- ・クマの出没情報に留意し、クマの行動が活発になる早朝や夕方に作業する際は、周囲の状況に十分注意しましょう。
- ・頻繁にクマが出没する地域では、できるだけ単独での作業を避けましょう。

②誘引物の適切な管理

- ・クマを誘引する生ゴミや野菜などの収穫残さ等は適切に処理してください。
- ・農地の中でも果樹園は特に被害を受けやすいため、収穫後は果実を放置せず適切に除去してください。
- ・クマは、農作物収納庫に入り込んで採食することもあるため、収納庫はきちんと施錠するなど管理を徹底しましょう。
- ・草刈機などに使用するガソリン等の揮発性物質も、クマの誘引物となるため、保管場所や保管方法に注意してください。

2 もしも、クマに遭遇してしまったら

①近くにクマがいることに気がついた場合

- ・落ち着いて、クマに背を向けずに、ゆっくりとその場から離れ、命を守る行動をとってください。
- ・クマを驚かせる恐れがあるため、大声を出したり、

走って逃げたりすることは避けてください。

②至近距離でクマと突発的に遭遇した場合

- ・クマによる直接的な攻撃など、危険な行動が見られる可能性が高くなります。顔面や頭部が攻撃されることが多いため、両腕で顔面や頭部を覆い、直ちにうつぶせになるなどして、重傷や致命傷を負う危険性を最小限に抑えることが重要です。また、日頃からクマの生息地にはむやみに立ち入らないことやクマ撃退スプレーを携行している場合は、クマに向かって噴射します。

電気柵の管理ポイント

電気柵は、クマに対応した仕様(20cm 間隔で3~4段、動物側 20cm 手前、高さ 20cm にもう一本配線(トリップ柵))で設置することで侵入を防ぐことができます。その際にも、日常的な点検管理で電圧を下げないことが必要です。小型動物用の柵と同様に、以下のポイントを点検して、効果を最大限発揮させましょう。

1 漏電箇所の確認

電牧線が金属や植物、地面に触れていませんか。漏電が発生すると電気柵全体の電圧が低下するため、除草作業を行うなどして漏電を解消しましょう。

2 電牧線のたるみ、断線に注意

電牧線がたるんだり断線していると、隙間から野生動物が侵入しやすくなります。また、電牧線が地面や水たまりに触れると漏電の原因になります。電牧線は適切な張力を保ち、特に最下段の線はこまめに確認しましょう。

3 電牧線のショートに注意



写真 余った線はショートの原因

電牧線に焦げた箇所があったり、パチパチ音がしたりする場所は、ショートが発生している可能性があります。結び目が原因で電牧線がショートし、熱によってナイロン線が溶けたり、鉄線が損傷し断線することがあります。結び目を何重にも巻いたり、こぶ結び状にしたり、線の余り部分を垂らしたままにすると電圧の低下になりますので定期的に点検を行いましょう(写真)。

農畜産課農畜産係(北爪)

農業技術に関するお問合せ TEL 23-0188